

## ■ 講演者・ファシリテーター プロフィール

### 加賀谷 哲之氏（一橋大学 大学院経営管理研究科 教授、CSR 研究会座長）

2000 年一橋大学大学院商学研究会博士課程修了。一橋大学商学部専任講師、助教授を経て 07 年より大学院商学研究科 准教授。2020 年より現職。専門分野は財務会計、IR、リスク管理、企業価値評価。研究領域は、会計属性の国際比較、無形資産の会計・評価、リスク管理・評価（BCM や情報セキュリティなどを中心に）。研究論文「サステナビリティ開示の拡充とその影響」月刊資本市場（450）4-14 2023 年 2 月等。

### 堀 幸夫氏（SOMPO ホールディングス株式会社 サステナブル経営推進部 課長）

2000 年に安田火災海上保険（現損害保険ジャパン）に入社。営業、内勤部門（内部統制）を経て、2018 年から持株会社である SOMPO ホールディングス（株）にて CSR・サステナビリティを担当。現在は、サステナビリティ戦略の企画、情報開示全般（統合レポート、サステナビリティレポート、SSBJ 開示等）を担当。ESG をテーマとした投資家との対話にも従事。

### 南田 泰子氏（イーザイ株式会社 サステナビリティ部 部長）

イーザイ株式会社 サステナビリティ部 部長、弁理士。知的財産業務に従事した後、経営戦略、PR、IR、アルツハイマー病の新薬上市に向けた環境整備業務を経て、2022 年 5 月より現職。持続可能な社会の実現や長期的な企業価値向上のため、ESG 課題に対する取り組み推進や医薬品アクセス向上に関するイニシアティブの策定・実行などを担う。

### 菊池 勝也氏（Co-Create Frontier LLC 代表）

1989 年大和証券投資信託委託（現大和アセットマネジメント）入社。2013 年まで約 20 年株式運用部門に所属しファンドマネージャーを務める。主として成長株ファンドや SRI ファンドを担当。2013 年に調査部へ異動し金融・医薬品セクターなどをカバーする。調査部長を経てスチュワードシップ活動を担当。2019 年に東京海上アセットマネジメントへ入社しマルチアセットの責任投資を統括。2025 年 4 月に企業と投資家による価値共創のサポートを目指し起業。情報開示や IR 活動の支援、スタートアップ企業のアドバイザーなど資本市場に関連する分野で活動中。元サステナビリティ基準委員会（SSBJ）委員。

### 松原 稔氏（りそなアセットマネジメント株式会社 チーフ・サステナビリティ・オフィサー 常務執行役員 責任投資部担当）

1991 年りそな銀行入行、以降一貫して運用業務に従事。投資開発室及び公的資金運用部、年金信託運用部、信託財産運用部、運用統括部、アセットマネジメント部で運用管理、企画、責任投資を担当。2020 年 1 月りそなアセットマネジメント責任投資部長、2020 年 4 月より現職。経済産業省「サステナブルな企業価値創造のための長期経営・長期投資に資する対話研究会（S X 研究会）」委員。日本国際博覧会協会「持続可能性有識者委員会」委員等参加。

### 富田 秀実氏（一般社団法人サステナビリティ経営研究所 代表理事）

東京大学工学部物理工学科卒。プリンストン大学工学部化学工学修士修了。ソニー株式会社で、2003 年の CSR 部発足当初から統括部長を約 10 年務める。その後、ロイドレジスター クオリティアシュアランス（LRQA）、LRQA サステナビリティ株式会社代表取締役を経て、現職。ISO 26000, ISO 20400, GRI スタンダード、東京オリンピック・パラリンピック持続可能な調達コード等、国内外の規格等の策定に多数参加。

### 福岡 徹（一般財団法人企業活力研究所 専務理事）

東京大学経済学部卒。1986 年に通商産業省（現・経済産業省）に入省し、2018 年に経済産業省を退官。この間、経済企画庁、外務省、農林水産省、消費者庁や（独）産業技術総合研究所でも勤務。2019 年から、（一財）企業活力研究所の専務理事として、同財団の業務を推進。